

細胞診

■ 細胞診検査 ■ 血液塗抹検査 ■ 骨髓吸引塗抹検査

検査価格はp.72をご覧ください。

検査項目名	検査材料	染色法	保存方法	所要日数 ^{※1}	報告
細胞診検査	塗抹標本 ・風乾のみ ・メタノール固定 ・染色済み いずれも可	ライト・ギムザ	室温	3～5	日本語
血液塗抹検査					
骨髓吸引塗抹検査 ^{※2}					
骨髓検査セット ^{※3}	骨髓コア生検	ライト・ギムザ	室温	4～6	日本語
	ホルマリン固定組織 作製済みのスライド標本				
	骨髓吸引塗抹				
	血液塗抹				
c-KIT遺伝子変異検査 ^{※4}	病理組織パラフィン切片 細胞診標本	ライト・ギムザ	室温	7～10	日本語
リンパ球クローン性解析 ^{※4}	病理組織パラフィン切片 細胞診標本 血液塗抹 骨髓塗抹				

※1 所要日数は、弊社到着日を0日とし、土・日・祝日を除く営業日で計算いたします。

※2 骨髓吸引塗抹検査では血液塗抹を添付いただくことで、より詳細な評価が可能となります。可能な限り骨髓採取時の血液塗抹を参考標本として添付ください。ただし、血液塗抹に関する詳細な所見が必要な場合は併せて「血液塗抹」項目をチェックしてご提出ください（この場合、検査価格は「骨髓吸引塗抹検査」価格+「血液塗抹」価格となります）。

※3 再固定・脱灰のため所要日数を超える場合がございます。

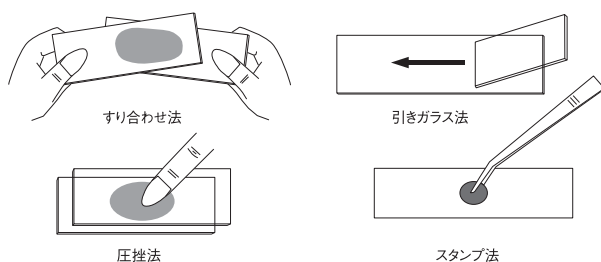
※4 当検査は弊社にご依頼いただいた病理または細胞診診断の結果ご報告後、追加検査としてのみご依頼いただけます。

注1 スライド標本は1年間保管後、処分させていただきます（写真・CDなどの添付資料は返却できません）。

注2 割増価格についてはp.73をご参照ください。

塗抹標本の作製

下記の手順で標本作製してください。塗抹の仕方は検査材料の種類、性状などに応じて異なります。全血、骨髓、液体材料をスライドグラスに塗抹せずに送付された場合、ご依頼をお受けできません。



① 採材後は速やかに塗抹し、冷風乾燥の後メタノール（99%以上）で2～3分間固定を行います（サイトキープ等の湿固定は不可）。

② ライト・ギムザ染色を行います。

③ 冷風で完全に乾燥させ、バイオライト等で封入します。

注1 尿・腹水・胸水等で細胞数が少ない場合は、遠心後（1000～1500rpm×5分）塗抹してください。

注2 骨髓の特殊染色には未固定の標本が必要となります。

検体の提出

下記の要領で提出してください。

① スライド同士の接着による破損を防ぐため、標本は1枚ずつスライドケースに入れます。

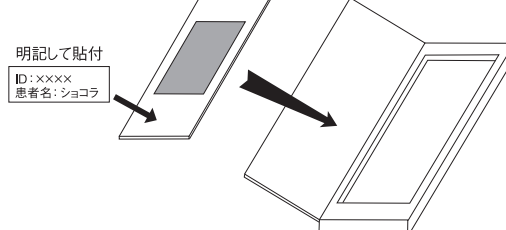
② ケースをさらに厚紙、エアーマット等で保護します。

注1 封入剤の溶出により、スライドがケースに貼りつく場合があります。必ず封入剤が乾燥したことを確認してから提出してください。

注2 スライド標本の破損の度合いが著しい場合、ご依頼をお受けできないことがあります。

注3 参考資料（写真など）は原則返却いたしません。

<検体の提出例>



染色法

ライト・ギムザ染色を推奨しておりますが、その他の染色法でも検査をお受けしております。不明の場合はお問い合わせください。

検体提出に際してのご注意

血液・骨髓塗抹検査をご依頼の際には必ず血球計算のデータを記載してください。

さらに充実したアイデックスの細胞診・病理組織検査 — 新しいサービスメニューをぜひご活用ください。

骨髓検査セット

骨髓や造血関連の診断においては、骨髓コア生検および骨髓吸引塗抹を同時に行い、また末梢血液塗抹の所見を併せて総合的に判断することで、病変のより詳細な評価が可能となります。アイデックスならではの病理組織診断医と細胞診診断医の連携によって、診断をサポートいたします。

骨髓検査セット

骨髓コア生検^{※1}＋骨髓吸引塗抹＋血液塗抹^{※2} (病理組織検査) (細胞診)

- 骨髓コア生検：主に骨髓の構造および細胞充実度の評価に優れています。
- 骨髓吸引塗抹：骨髓中の個々の細胞の詳細な形態観察に優れています。

- ※1 「骨髓コア生検」のみの診断をご希望の場合：「骨髓検査セット」ではなく「病理組織学的検査」項目としてご提出ください。
 - ※2 「血液塗抹」に関する詳細な所見が必要な場合は併せて細胞診の「血液塗抹」項目をチェックしてご提出ください（この場合、検査価格は「骨髓検査セット」価格＋「血液塗抹」価格となります）。
- *骨髓造血細胞の評価が診断に不要な場合（骨由来腫瘍や悪性腫瘍の骨転移を疑う際など）には細胞診・病理セットをご利用ください。

注1 下記注1参照

細胞診診断後の 病理検査割引サービス

会員様限定サービス

細胞診と病理検査の診断結果が異なり、総合的な解釈に悩まれた経験はございませんか。

アイデックスに細胞診を依頼され、後日同じ患者様、同じ部位で病理検査依頼を行う際に、細胞診の診断書のコピーを添付いただければ、細胞診結果にも目を通した上で病理診断を行い、かつ病理検査をセット割引価格にてご提供いたします。万が一診断内容が一致しない場合も、細胞診診断医と病理診断医が顔を合わせてディスカッションを行い病理診断書に反映させます。

本サービスの価格についてはp.72をご覧ください。

- 注1 ①同じ施設、同じ患者様、同じ部位で、細胞診診断書の発行日から2ヶ月以内に提出された病理検体に適用されます。
- ②アイデックス細胞診の診断書の添付が必要となります（添付が無い場合は病理割引対象とはなりません）。
- 注2 報告所要日数は変わりません（2～3日）。
- 注3 骨髓塗抹とコア生検の組み合わせは含まれません（骨髓検査セットをご利用ください）。

悪性腫瘍のリンパ節転移チェック（FNA）サービス 会員様限定サービス

悪性腫瘍においては、臨床ステージ評価のために所属リンパ節の転移の有無の精査が勧められます。アイデックスでは、悪性腫瘍を疑う症例で病理検査依頼を行う際、所属リンパ節のFNAのスライドを添付いただければ、細胞診によるリンパ節転移の簡易評価を無料でご提供させていただきます（弊社病理検査で悪性腫瘍が診断された症例において、2週間以内のFNA検査依頼も無償で承ります）。

検査項目名	価格 (税別)	本サービスご依頼方法	ご依頼時の条件
悪性腫瘍のリンパ節転移 チェックサービス (細胞診簡易診断)	無料	1. 病理検査と同時にFNAを提出する場合*: 依頼書に「 リンパ節転移チェック希望 」とご記入ください 2. 病理検査の後にFNAを提出する場合: 依頼書に「 病理検体番号(7桁の番号) 」および「 リンパ節転移チェック希望 」とご記入ください	提出検体: 所属リンパ節は 2箇所・スライド合計4枚 まで 病理検査の後に本サービスを依頼する場合: 病理診断書の発行日から 2週間以内 のもの

注1 病理検査と同時にFNAスライドを提出する場合、ホルマリンに暴露された未固定・未染色の塗抹標本は染色性が不可逆的に阻害されるため、細胞診の塗抹標本は、ホルマリン浸漬組織の病理検体と必ず別々のチャック付袋等に入れ、しっかり密封してから送付してください。

標本写真撮影サービス 会員様限定サービス

学会発表等で高解像な組織写真がご入り用の場合、ご利用いただけるサービスです。写真データはCD-R形式でご提供します。病理・皮膚病理検査は組織写真の解説がつきますが、細胞診は写真のみとなります。

サービス価格についてはp.73をご参照ください。

検査項目名	納期	ご依頼方法	ご依頼時の条件
標本写真撮影サービス (病理・皮膚病理)	2～4週間	弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください	本検査は検査サービス会員様のみご利用いただけます
標本写真撮影サービス (細胞診)	2週間		

アイデックス カスタマーサポート TEL: 0120-71-4921 平日9:00～18:00(土・日・祝日を除く／フリーダイヤル・自動音声案内)